

海水配管トレンチ 汚染水対策工事の進捗について

2015年3月25日

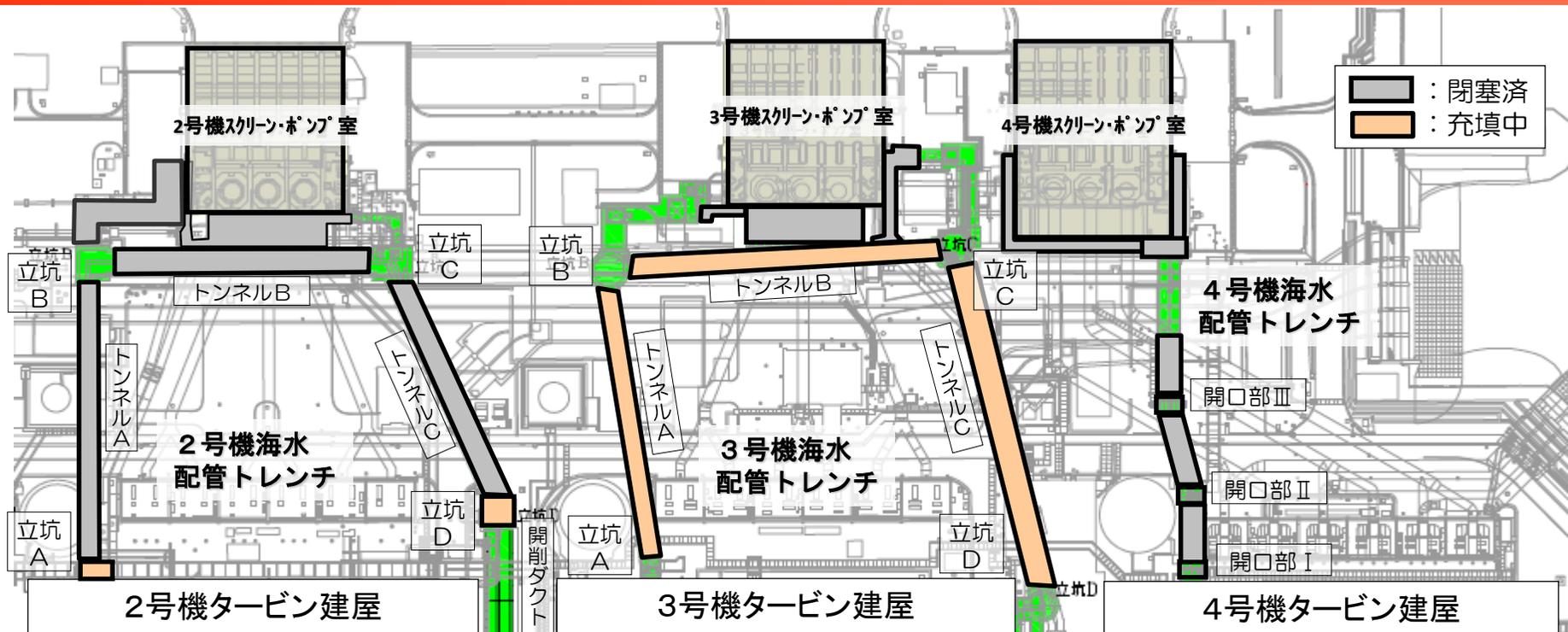
東京電力株式会社



東京電力

1. 海水配管トレンチ汚染水対策工事の進捗状況

■位置図



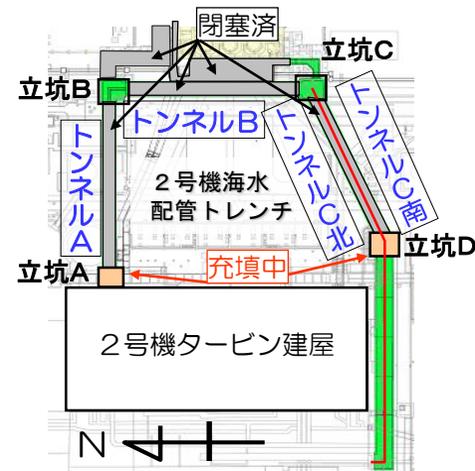
■進捗状況(平成27年3月23日現在)

汚染水除去全体進捗：48%

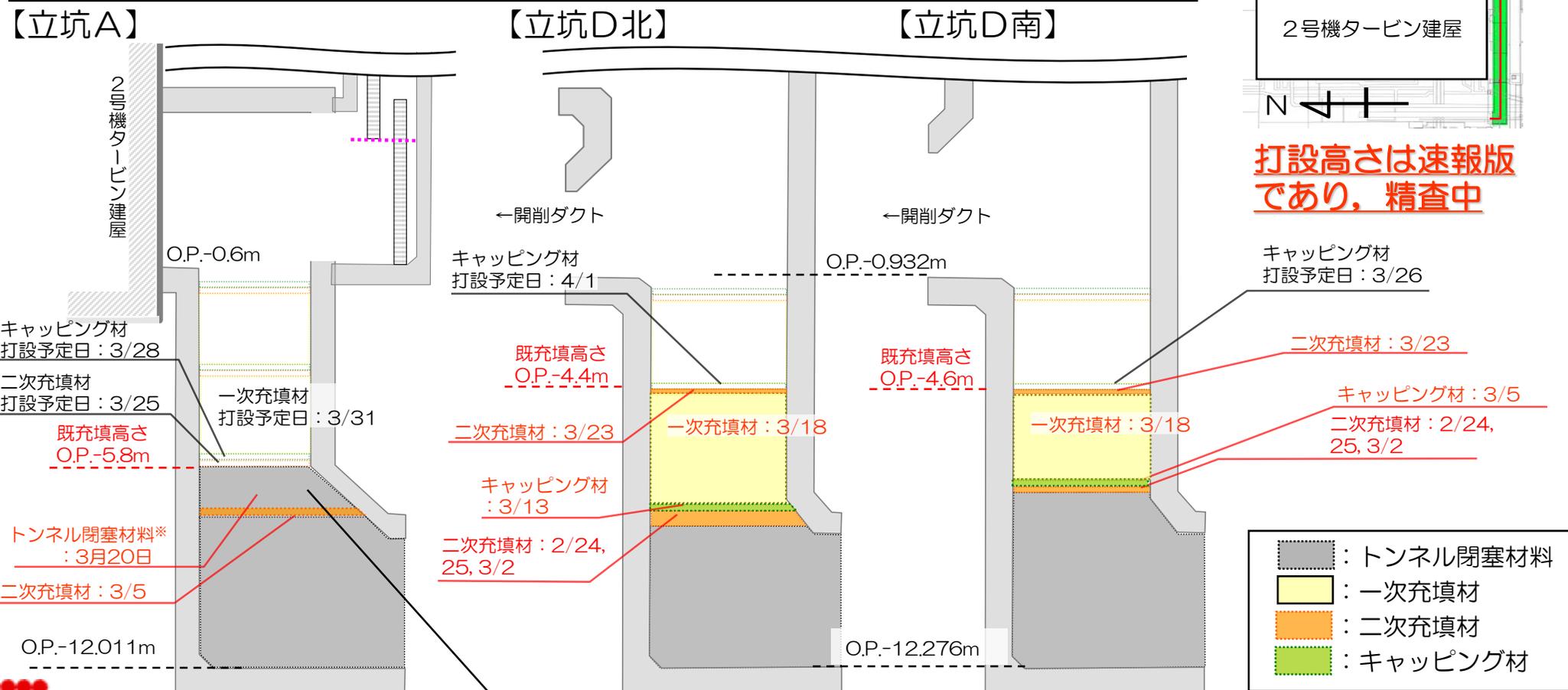
号機	2号機	3号機	4号機
状況	<ul style="list-style-type: none"> トンネル部充填：12/18完了 (約2,510m³/約2,510m³) 立坑充填：2/24開始 (約100m³/約1,990m³) 	<ul style="list-style-type: none"> トンネル部充填：2/5開始 トンネル部 約70% 充填完了 (約2,320m³/約3,300m³) 	<ul style="list-style-type: none"> トンネル部充填：3/21完了 (約460m³/約460m³)
残滞留水量	約1,890m ³	約3,480m ³	約440m ³
充填量	約2,610m ³	約2,320m ³	約460m ³

2. 2号機:立坑充填の進捗状況

- 立坑Dについては、3月23日現在で1サイクル目の二次充填材の打設を完了。今後、キャッピング材の打設を実施し、1サイクル目を完了予定。
- 立坑Aについては、不陸調整のためのトンネル閉塞材の打設を3月20日に実施。今後、二次充填材・キャッピング材、1サイクル目の一次充填材の打設を順次実施する。



打設高さは速報版
であり、精査中



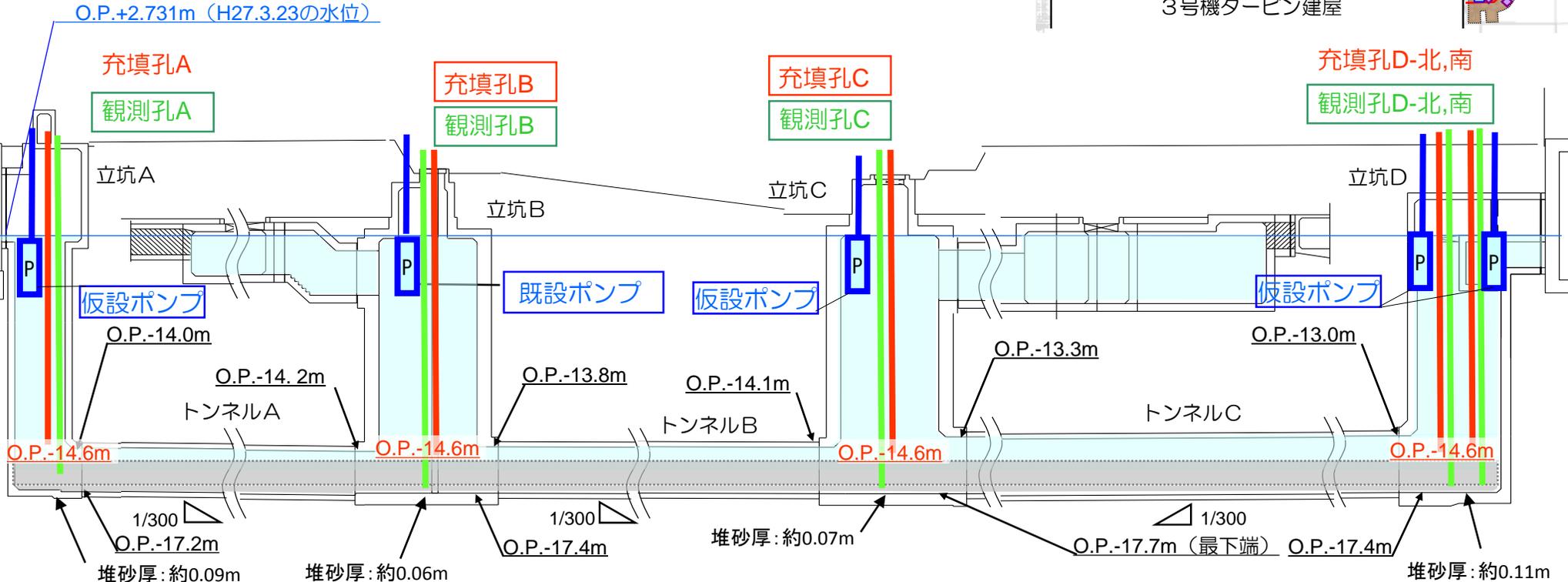
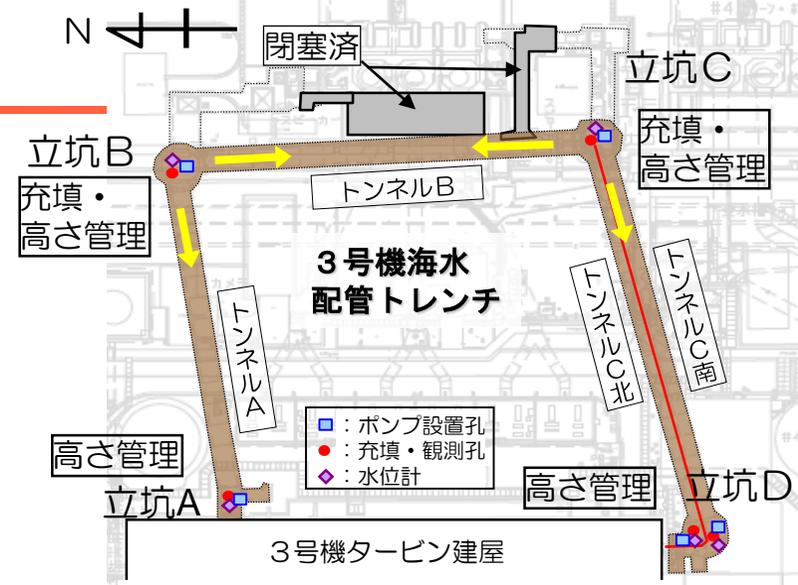
※間詰め充填（凍結促進策）材料の落下によるものと考えられる不陸が生じており、トンネル閉塞材料により、不陸解消を行ったもの。

3. 3号機:トンネル充填の進捗状況

- 3号機海水配管トレンチのトンネル部充填を2月5日より実施中。
- 立坑B・Cから打設し、3月23日現在、約2,320m³打設完了しており、同量の滞留水を除去。
- 4月上旬にトンネル部充填完了の見込み。

※ 図中の各充填孔・観測孔・ポンプにおいて枠で囲まれているものは、現状使用中のもの。

※ 赤字は打設高さ（3月21日計測）



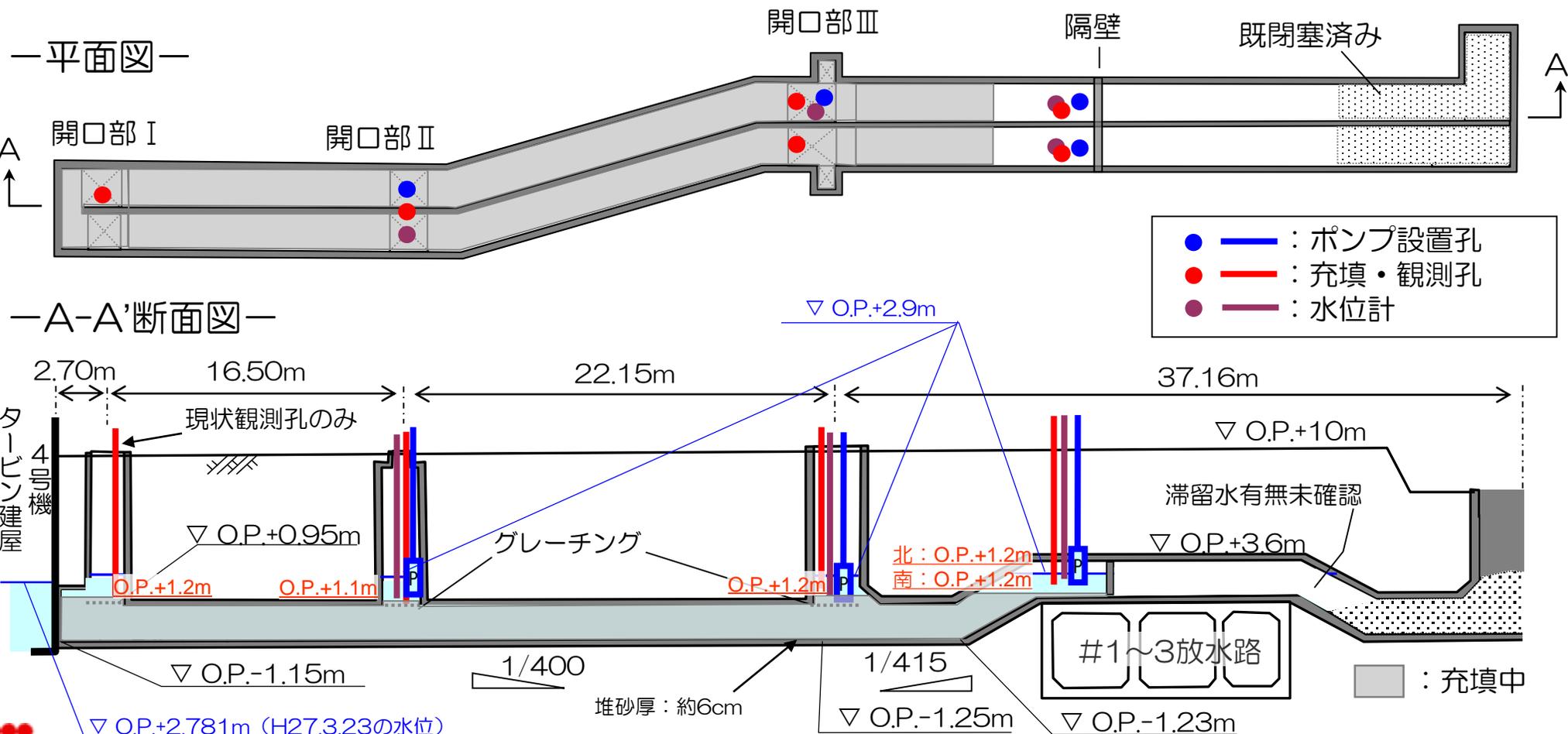
【3号機海水配管トレンチ概略断面展開図】

打設高さは速報版であり、精査中

4. 4号機:トンネル充填の進捗状況

- 3月21日に天井部までの充填を完了し、計460m³を打設、同量の汚染水を除去。
- 3月27日に開口部Ⅱ・Ⅲおよび放水路上部から水移送を行い、揚水試験を実施予定。
- 揚水試験後、開口部ⅡおよびⅢについては順次地上まで充填予定。開口部Ⅰおよび放水路上部は実施時期検討中。

※ 赤字は打設高さ (3月23日計測)



5. 今後の予定

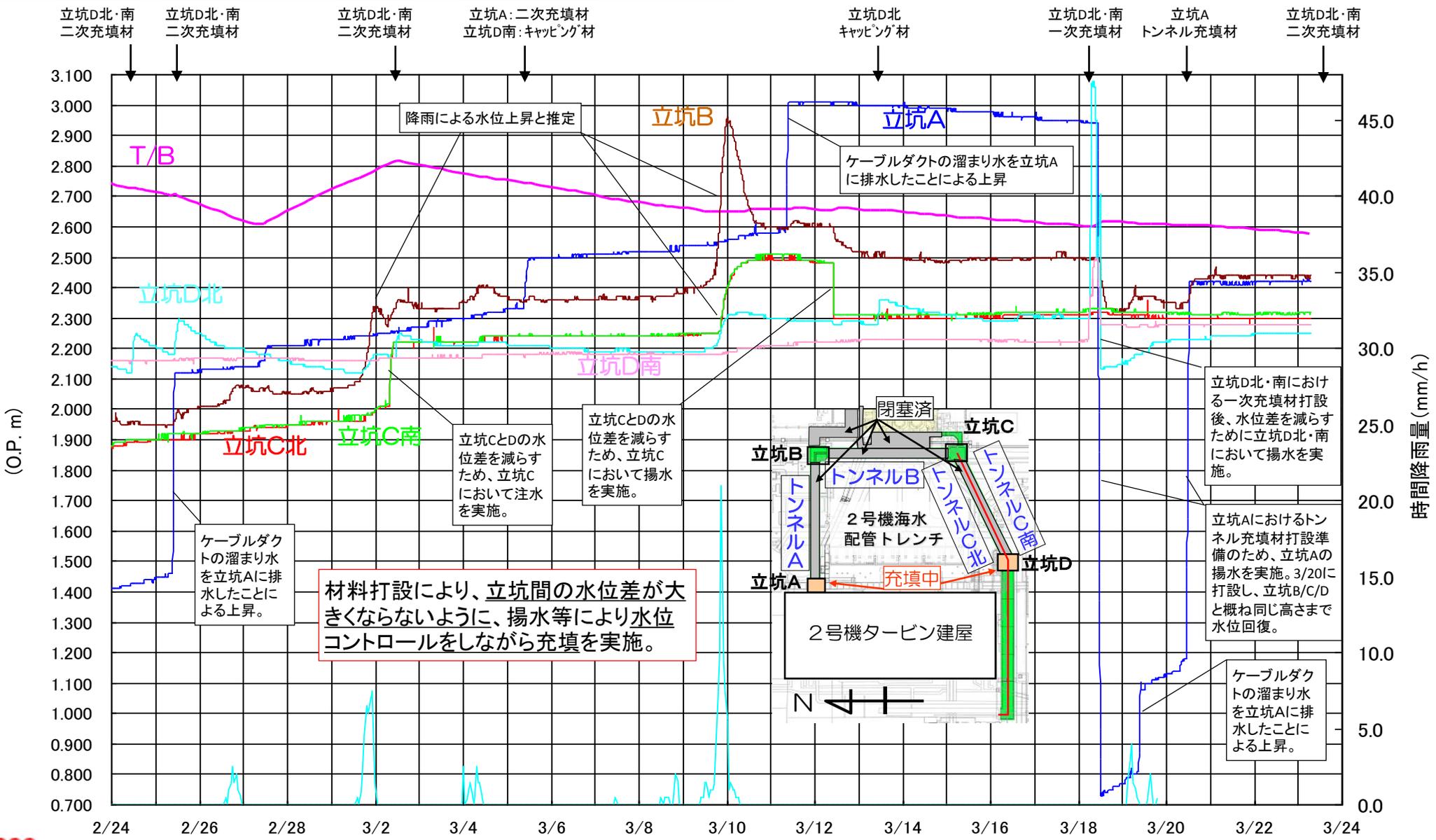
- 2号機は、順次立坑部の充填を実施中。立坑A, Dの1サイクル目の充填後、揚水試験を4月上旬頃実施予定。引き続き2サイクル目の充填を行い、立坑B, Cを含め、5月中に滞留水の除去完了を目指す計画。
- 3号機は、引き続きトンネル部の充填を行う。トンネル部の充填が完了次第、揚水試験を行い（現状4月中旬予定）、引き続き立坑の充填を実施予定。
- 4号機は、トンネル部について充填完了。3月27日に揚水試験実施予定。

		~H27.1	H27.2	H27.3	H27.4	H27.5	H27.6	H27.7
2号機	トンネル部 (計：約2,510m ³)	完了 ▲2510						
	立坑部 (計：約1,990m ³)			▲200	▲1000	▲790		
3号機	トンネル部 (計：約3,300m ³)		▲1200	▲1400	▲700			
	立坑部 (計：約2,500m ³)				▲200	▲900	▲1400	
4号機	トンネル部 (計：約460m ³)		▲290	▲170	(開口部については実施時期調整中)			

※ 工程調整等により、除去時期の変動可能性あり

※ 表中の▲数字は当該月のトレンチ内滞留水除去量の見込み (m³)
(滞留水の水質による処理設備側への影響を考慮しない場合)

(参考) 2号機: 水位変化(立坑充填開始後)



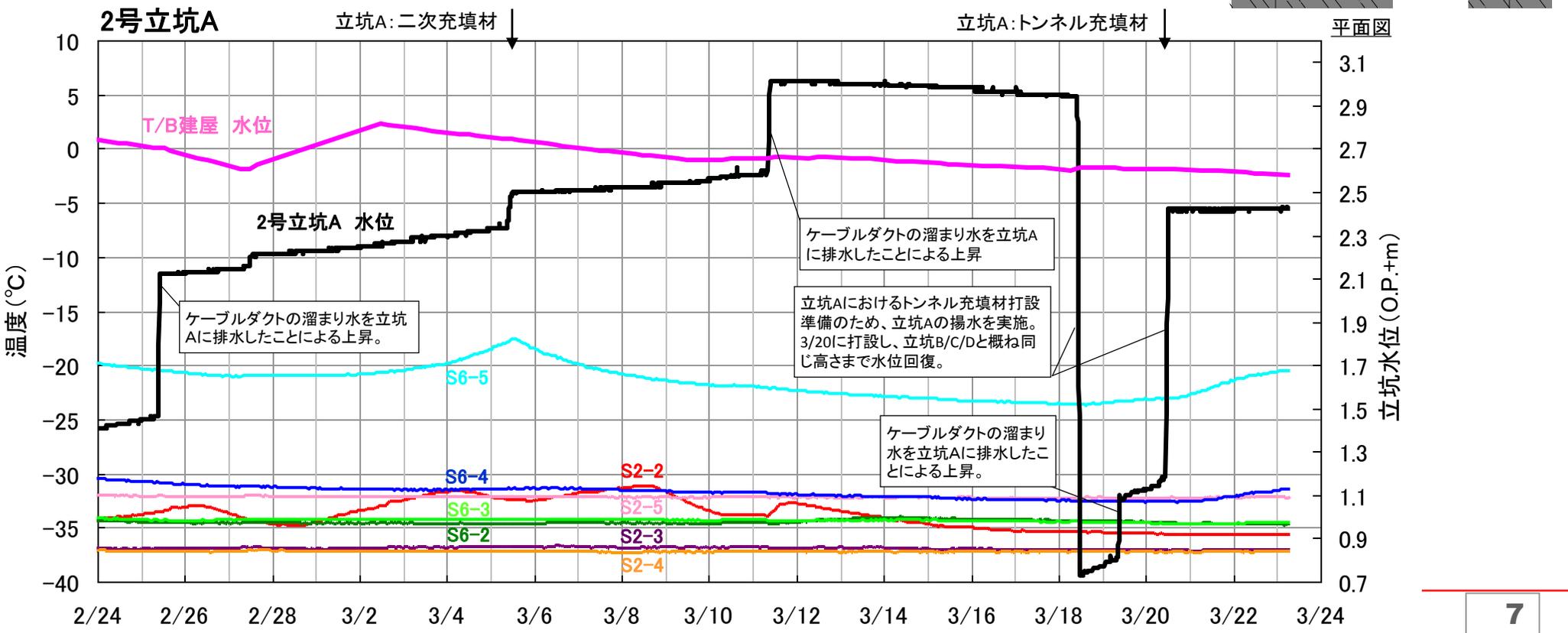
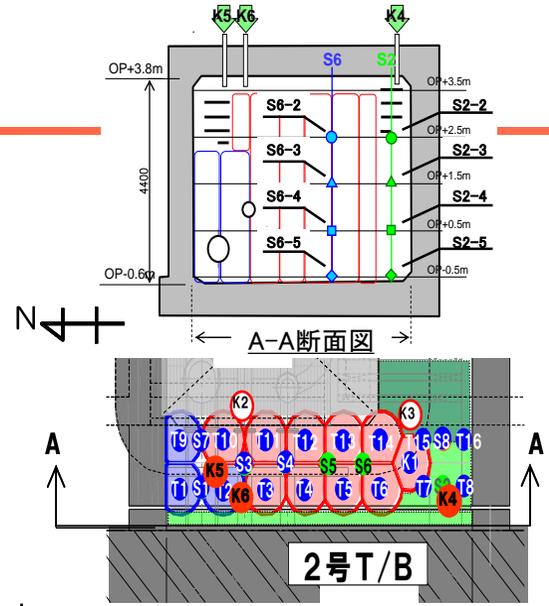
材料打設により、立坑間の水位差が大きくなるように、揚水等により水位コントロールをしながら充填を実施。

2/25 手ばかり確認による水位データ補正実施

(参考) 2号機: 凍結止水箇所での温度変化(2号立坑A)

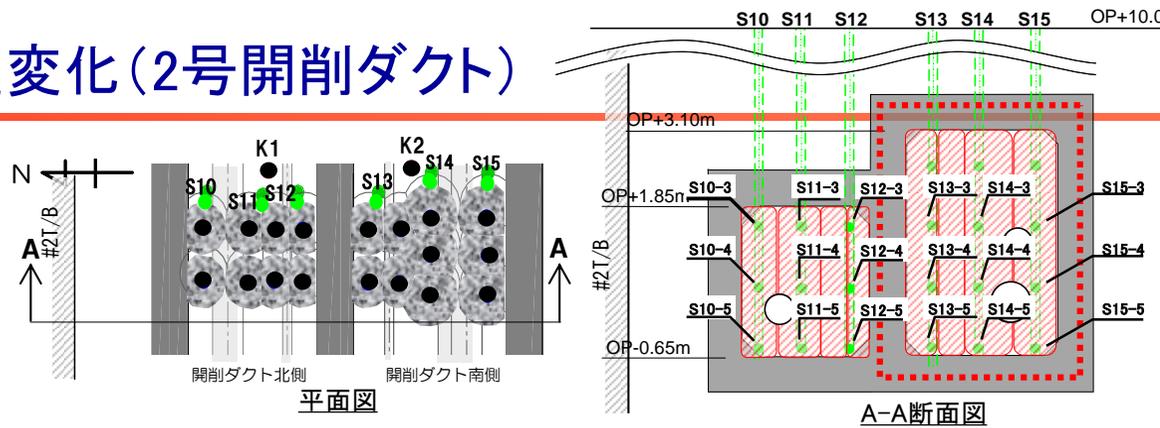
立坑Aの水位は、充填材の打設や揚水等により変化しているものの、凍結部の温度は -20°C 以下で安定。

- S2-2 O.P.+2.5m
- S2-3 O.P.+1.5m
- S2-4 O.P.+0.5m
- S2-5 O.P.-0.5m
- S6-2 O.P.+2.5m
- S6-3 O.P.+1.5m
- S6-4 O.P.+0.5m
- S6-5 O.P.-0.5m
- 2号立坑A
- T/B建屋

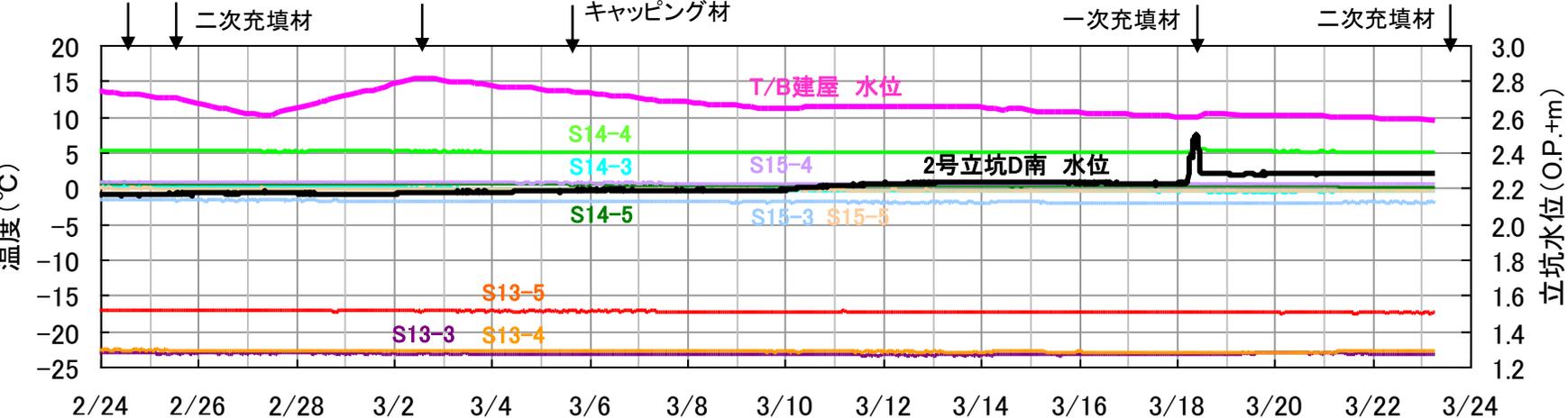


(参考) 2号機: 凍結止水箇所での温度変化(2号開削ダクト)

■ 2号開削ダクトの温度は横ばいかわずかに低下傾向で、大きな変化はない。

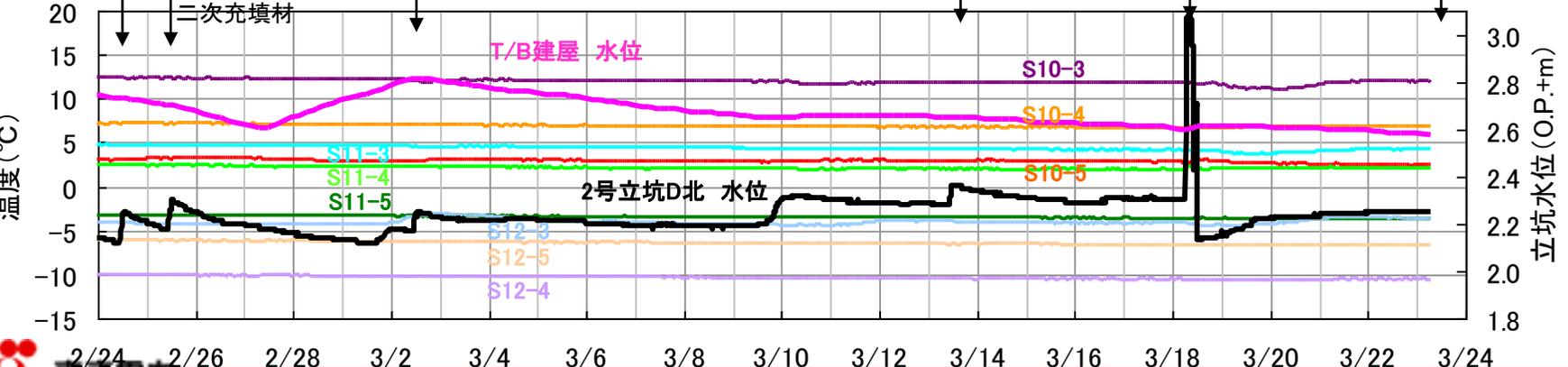


開削ダクト南側



- S13-3
- S13-4
- S13-5
- S14-3
- S14-4
- S14-5
- S15-3
- S15-4
- S15-5
- 2号立坑D南
- T/B建屋

開削ダクト北側



- S10-3
- S10-4
- S10-5
- S11-3
- S11-4
- S11-5
- S12-3
- S12-4
- S12-5
- 2号立坑D北
- T/B建屋